



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月31日

上場会社名 GMOクラウド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3788 URL http://ir.gmocloud.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 グループCFO (氏名) 閑野 倫有 TEL 03-6415-6100  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 アナリスト・機関投資家向け

百万円未満切捨て

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	7,716	2.9	676	△9.4	730	2.8	434	15.7
25年12月期第3四半期	7,497	6.6	746	1.7	710	△4.3	375	△7.2

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 478百万円 (△22.6%) 25年12月期第3四半期 618百万円 (52.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	37.30	—
25年12月期第3四半期	32.24	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき100株の割合をもって分割する株式分割を実施いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	8,493	5,403	62.1
25年12月期	8,292	5,169	61.3

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 5,271百万円 25年12月期 5,085百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	1,900.00	1,900.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	19.50	19.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年12月期（予想）期末の配当金については、平成26年4月1日付で実施した普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,524	5.1	1,050	11.0	1,045	15.4	645	21.6	55.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

平成26年12月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成26年4月1日付で実施した普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	11,693,000株	25年12月期	11,693,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	51,300株	25年12月期	51,300株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	11,641,700株	25年12月期3Q	11,641,700株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で、普通株式1株につき100株の割合をもって分割する株式分割を実施いたしました。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日銀の金融政策の影響により、一時は企業収益や個人消費の改善が見られる回復基調にあったものの、円安の進行による原材料費の高騰及び増税による可処分所得の減少により減退傾向にありました。また、海外経済においては、中国をはじめとする新興国市場を中心とした景況感の悪化の中で、紛争問題の発生等、今後の先行きについて不透明な状況にありました。

当社グループの事業分野であるインターネットサービス市場においては、スマートデバイスの普及によりユーザーの嗜好や活用シーンに合わせた多種多様なサービスが展開されております。市場規模は拡大し続け、これからもユーザー主導の様々なサービスが開発されていくと同時に、新規参入や既存サービスの陳腐化も加速していくと思われれます。当社グループは、市場の動向をウオッチし、最適なホスティングサービス及びセキュリティサービス事業を提供することで市場の活性化に貢献してまいります。

このような事業環境の中、当社は10月23日に東証マザーズ市場から東証一部市場に変更いたしました。クラウドサービスの会員数が堅調に伸長していること、またセキュリティサービスにおいても、海外を中心に順調に業績を伸ばしていることから、更なる成長に向けての市場変更となります。この度の東証一部市場への変更を機に、インターネットインフラ事業者として、より一層信頼されるサービスを提供してまいります。

ホスティングサービス事業は、新パブリッククラウド「GMOクラウドALTUS(アルタス)」シリーズにおいて、低価格のクラウドストレージサービスの「オブジェクトストレージ」を発表いたしました。「GMOクラウドALTUS」シリーズは、全部で3つのシリーズからなり、前回の「Isolate(アイソレート)」に続き2つ目のサービス提供となりました。当該シリーズにより、技術要求レベルの高いユーザー層までターゲットを拡げるとともに、これまでに無いサービスの提供が可能となっております。

また、セキュリティサービス事業においては、国内外において代理店数を堅調に伸ばし、SSL有効発行枚数も順調に増加してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,716,988千円(前年同期比2.9%増)、営業利益676,105千円(同9.4%減)、経常利益730,080千円(同2.8%増)、四半期純利益434,200千円(同15.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① ホスティングサービス事業

市場環境の変化により、共用、専用サーバーの価格低下及び会員数低下による売上減少、そして固定費率の相対的な増加による利益低下が依然として続いてまいりました。一方で、「GMOクラウドPublic」サービスは、第1四半期より単月で営業利益黒字化を達成し、利益を積み上げていく状況になりました。また、現行のパブリッククラウドサービスの後継として新パブリッククラウド「GMOクラウドPublicALTUS(アルタス)」シリーズを発表し、当社のこれまでのクラウドサービスには無かった「標準化」、「互換性」、「拡張性」を特長とするサービス提供が可能となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるホスティングサービス事業の売上高は4,535,490千円(前年同期比6.9%減)、セグメント利益は176,632千円(同47.0%減)となりました。

#### ② セキュリティサービス事業

日本及び海外において、販売代理店件数の拡大を図りながら、SSL証明書の発行枚数を順調に増やしてまいりました。国内の大企業に対しては、既に海外で販売し、好評を得ているAuto Enrollment Gateway(AEG)を6月に国内市場に投入することで、営業強化を図ってまいりました。

また、10月よりIAM<sup>※1</sup>サービスを提供するフィンランドのUbisecure Solutions, Inc.(ユビセキュアソリューションズ社)が当社グループに加わりました。500億のデバイスが繋がるIoE<sup>※2</sup>社会において必須となる同社の持つ複数のID統合管理システムとGMOグローバルサインのセキュリティ認証技術とのシナジーをはかることで、近い将来のIoE社会の到来を見越したID統合とセキュリティ認証サービスの提供体制を整えました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるセキュリティサービス事業の売上高は2,616,845千円(前年同期比26.7%増)、セグメント利益は539,676千円(同50.3%増)となりました。

※1 IAMとは、Identity and Access Management(アイデンティティ&アクセスマネジメント)の略で、複数アカウント(ID)を統合管理し、さらにアクセスの範囲や権限なども詳細に設定し認証するシステムのこと。

※2 IoEとは、Internet of Everythingの略で、モノだけでなく、人や場所、さらにはそこに紐付けられたデータやプロセスなどの相互通信を可能にすること。

③ ソリューションサービス事業

ホームページ制作等を行うWEBソリューションサービスにおいては、スマホアプリ制作サービス「BizPalette アプリby GMO」の提供を開始いたしました。近年、ネット上（オンライン）からリアル店舗（オフライン）へ消費者の購買行動を促すO2O（オーツーオー：Online to Offline）が活発化しており、タイムリーなクーポンの配信やプッシュ通知など、スマートフォン向け集客支援型アプリの活用に注目が集まっています。しかし、店舗専用アプリの導入には、高額な開発の委託費用がかかり、大手企業が中心で、中小企業による導入は依然として少ないままでした。この点に着目し、中小企業でも簡単に店舗専用アプリを導入できる、低価格・短期間でオリジナルデザインのアプリをオーダーメイドで制作するサービスの提供を開始いたしました。

スピード翻訳サービスにおいては、引き続き大学関連の翻訳や論文校正を行っているコンシェルジュ翻訳に力を入れてまいりました。また、最近ではゲーム関連の翻訳案件が増えてきたこともあり、更なるゲーム翻訳案件の獲得を目指して今年度の東京ゲームショーに出展いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間におけるソリューションサービス事業の売上高は673,004千円（前年同期比4.8%増）、セグメント利益は13,173千円（同26.5%減）となりました。

※セグメント利益については、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、平成26年2月6日に発表いたしました平成26年12月期通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,328,581	3,022,489
売掛金	1,117,062	1,179,945
前払費用	179,384	274,356
繰延税金資産	162,892	150,643
その他	148,565	703,943
貸倒引当金	△24,317	△36,235
流動資産合計	4,912,169	5,295,143
固定資産		
有形固定資産		
建物	56,905	52,794
減価償却累計額	△25,681	△24,577
建物(純額)	31,224	28,216
車両運搬具	—	2,523
減価償却累計額	—	△942
車両運搬具(純額)	—	1,580
工具、器具及び備品	1,347,246	1,594,560
減価償却累計額	△869,978	△980,875
工具、器具及び備品(純額)	477,267	613,684
リース資産	879,890	972,973
減価償却累計額	△296,868	△437,527
リース資産(純額)	583,021	535,446
有形固定資産合計	1,091,513	1,178,928
無形固定資産		
のれん	365,989	223,617
ソフトウェア	383,381	314,303
その他	98,834	92,663
無形固定資産合計	848,206	630,584
投資その他の資産		
投資有価証券	914,244	977,873
関係会社株式	158,517	79,954
匿名組合出資金	97,758	71,853
長期前払費用	19,561	14,413
敷金及び保証金	133,687	142,615
繰延税金資産	41,325	18,596
その他	75,224	83,850
投資その他の資産合計	1,440,319	1,389,157
固定資産合計	3,380,039	3,198,670
資産合計	8,292,208	8,493,814

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	245,594	259,714
未払金	418,942	394,777
1年内返済予定の長期借入金	42,800	—
前受金	1,449,099	1,510,648
リース債務	188,835	188,803
未払法人税等	118,381	24,083
未払消費税等	66,329	120,596
賞与引当金	3,079	9,549
役員賞与引当金	12,597	206
その他	114,951	157,894
流動負債合計	2,660,612	2,666,274
固定負債		
リース債務	413,772	385,553
繰延税金負債	17,796	14,960
その他	30,216	23,825
固定負債合計	461,785	424,339
負債合計	3,122,397	3,090,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	916,900	916,900
資本剰余金	1,005,648	1,005,648
利益剰余金	3,030,157	3,218,867
自己株式	△38,936	△38,936
株主資本合計	4,913,769	5,102,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,440	40,799
繰延ヘッジ損益	1,255	—
為替換算調整勘定	162,048	127,810
その他の包括利益累計額合計	171,744	168,610
少数株主持分	84,296	132,109
純資産合計	5,169,810	5,403,200
負債純資産合計	8,292,208	8,493,814

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	7,497,083	7,716,988
売上原価	3,059,878	3,179,472
売上総利益	4,437,204	4,537,515
販売費及び一般管理費	3,690,867	3,861,410
営業利益	746,337	676,105
営業外収益		
受取利息	9,782	18,748
為替差益	—	33,520
その他	3,111	24,169
営業外収益合計	12,893	76,438
営業外費用		
支払利息	12,513	13,356
匿名組合投資損失	14,115	9,012
為替差損	22,218	—
その他	0	94
営業外費用合計	48,847	22,463
経常利益	710,383	730,080
特別損失		
固定資産除却損	2,702	—
関係会社株式評価損	—	14,951
投資有価証券評価損	—	24,828
事務所移転費用	—	10,637
減損損失	—	45,166
特別損失合計	2,702	95,584
税金等調整前四半期純利益	707,680	634,496
法人税、住民税及び事業税	235,847	136,104
法人税等調整額	47,711	12,446
法人税等合計	283,558	148,551
少数株主損益調整前四半期純利益	424,122	485,944
少数株主利益	48,807	51,744
四半期純利益	375,314	434,200



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	424,122	485,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,163	31,960
繰延ヘッジ損益	△5,722	△1,255
為替換算調整勘定	191,134	△37,770
その他の包括利益合計	194,576	△7,065
四半期包括利益	618,698	478,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569,560	431,065
少数株主に係る四半期包括利益	49,137	47,812

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	707,680	634,496
減価償却費	435,833	428,767
のれん償却額	249,365	142,372
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,497	11,631
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,601	6,433
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△29,007	△12,293
受取利息及び受取配当金	△9,782	△25,965
支払利息	12,513	13,356
為替差損益(△は益)	△4,160	3,195
匿名組合投資損益(△は益)	14,115	9,012
固定資産除却損	2,702	—
事務所移転費用	—	10,637
関係会社株式評価損	—	14,951
投資有価証券評価損益(△は益)	—	24,828
減損損失	—	45,166
売上債権の増減額(△は増加)	△88,284	△37,840
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,053	△10,251
未払金の増減額(△は減少)	△31,424	△53,698
前受金の増減額(△は減少)	△15,886	50,303
預り金の増減額(△は減少)	△1,968	12,998
その他	91,361	30,508
小計	1,310,902	1,298,611
利息及び配当金の受取額	9,232	23,067
利息の支払額	△12,513	△13,356
移転費用の支払額	—	△10,637
法人税等の支払額	△512,661	△289,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	794,959	1,008,552
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△213,462	△268,925
無形固定資産の取得による支出	△96,289	△58,899
投資有価証券の取得による支出	△752,321	△17,481
関係会社株式の取得による支出	△93,549	—
関係会社株式取得に伴う前渡金による支出	—	△479,447
匿名組合出資金の払込による支出	△25,000	—
貸付けによる支出	△18,142	△28,966
その他	△10,448	△22,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,109,215	△875,740
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△44,000	△42,800
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△126,822	△159,319
配当金の支払額	△209,870	△221,436
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380,692	△423,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	185,746	△23,455
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△509,202	△314,199
現金及び現金同等物の期首残高	3,394,332	3,268,581
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,184	8,106
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,942,314	2,962,489

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

著しい変動がないため記載を省略しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホスティング サービス事業	セキュリテ イサービス 事業	ソリューシ ョンサービ ス事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,849,648	2,013,687	633,747	7,497,083	—	7,497,083
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	23,024	51,536	8,141	82,701	△82,701	—
計	4,872,673	2,065,223	641,888	7,579,785	△82,701	7,497,083
セグメント利益	333,310	358,947	17,912	710,171	211	710,383

(注) 1 セグメント利益の調整額211千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホスティング サービス事業	セキュリテ イサービス 事業	ソリューシ ョンサービ ス事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,505,994	2,549,388	661,605	7,716,988	—	7,716,988
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29,496	67,457	11,398	108,352	△108,352	—
計	4,535,490	2,616,845	673,004	7,825,340	△108,352	7,716,988
セグメント利益	176,632	539,676	13,173	729,483	597	730,080

(注) 1 セグメント利益の調整額597千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホスティングサービス事業」セグメントにおいて、プライベートクラウドサービスに係る固定資産につき、収益性が低下していること、及び次期クラウドサービスの提供を始めたことから、減損損失を認識し、特別損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、45,166千円であります。